

概要

- 落部漁港は条件不利地域に位置するが、令和7年度の基礎調査・実証試験により関係者の理解と取組機運が高まり、海業推進に向け、活用できる地域資源と課題が整理された。
- 女性部のキッチンカーや浜のかあさん食堂による料理提供、海の見える図書館およびドローン講座による学習拠点、既存施設および用地を活用した水産物販売や漁業体験など、食・学び・体験の各要素を段階的に整備し連携させることで、条件不利地域でも実現可能な複合型海業を展開する。
- 海業の推進により、地域住民のにぎわいを創出するとともに、来訪者との交流を通じて漁村地域の活性化に寄与する。



海業の取組概要

落部漁港での複合型海業の展開について

食



令和7年度女性部活動



キッチンカーデザインイメージ

水産物の食文化の継承と、条件不利地域における来訪者受け入れの促進を目標とし、落部漁協女性部によるキッチンカーでの料理提供、かあさん食堂開設に向けた需要調査等の実証を行う。あわせて、地域住民向けに水産物直売拠点の設立を試行する。



学び



図書館設置予定地



学習活動イメージ

小中学生を中心に、地域住民が海洋・水産業に触れる機会を提供するため、用地の施設内に「海の見える図書館」を設置する。また、ICT・ドローンを活用した講座の開催等を通して、地元の水産業や漁港について知るための多角的な学習機会を充実させる。

体験



活用予定の用地①



活用予定の用地②

漁港用地を活用したにぎわいと雇用創出を目標とし、シャワー施設整備による海洋レクリエーション環境の向上や水産物販売等、来訪者受け入れ環境を整備するとともに、漁協旧事務所の交流拠点等としての活用を検討する。

効果

- ◆女性部の食堂・キッチンカー運営、及び水産物販売による地域経済の活性化
- ◆図書館・ドローン講座による学びの場創出と漁業文化・食文化の継承
- ◆来訪者受入体制整備による交流人口の創出と漁業者の誇り・やりがいの向上

協力体制

- 【漁協】 落部漁業協同組合
- 【町】 八雲町、八雲町教育委員会  
地元小中学校
- 【道】 北海道（漁港管理者）

スケジュール

- 令和8年度 : 図書館・食堂・体験プログラム等の検討・実証
- 令和9年度 : 一部取組の開始
- 令和10年度～ : 食・学び・体験の各要素の段階的展開